

別海町下水道等事業経営戦略策定について

別海町建設水道部上下水道課

1 経営戦略について

公営企業が、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画について、総務省から各自治体の地方公営企業に対し、令和7年度までに策定するよう要請されています。

2 本町の課題

有 収 水 量 の 減 少	人口減少・高齢化等の影響で有収水量（下水道使用量）は減少。
施 設 の 老 朽 化	各施設の老朽化が進み、将来の改築更新費用の増加が懸念される。
厳 し い 財 政 状 況	公営企業会計一般会計の財政状況も厳しく繰入金への依存が厳しくなるなか、本町下水道等事業を今後どのように進めていくかは本町の大きな課題。

別海町下水道等事業経営戦略

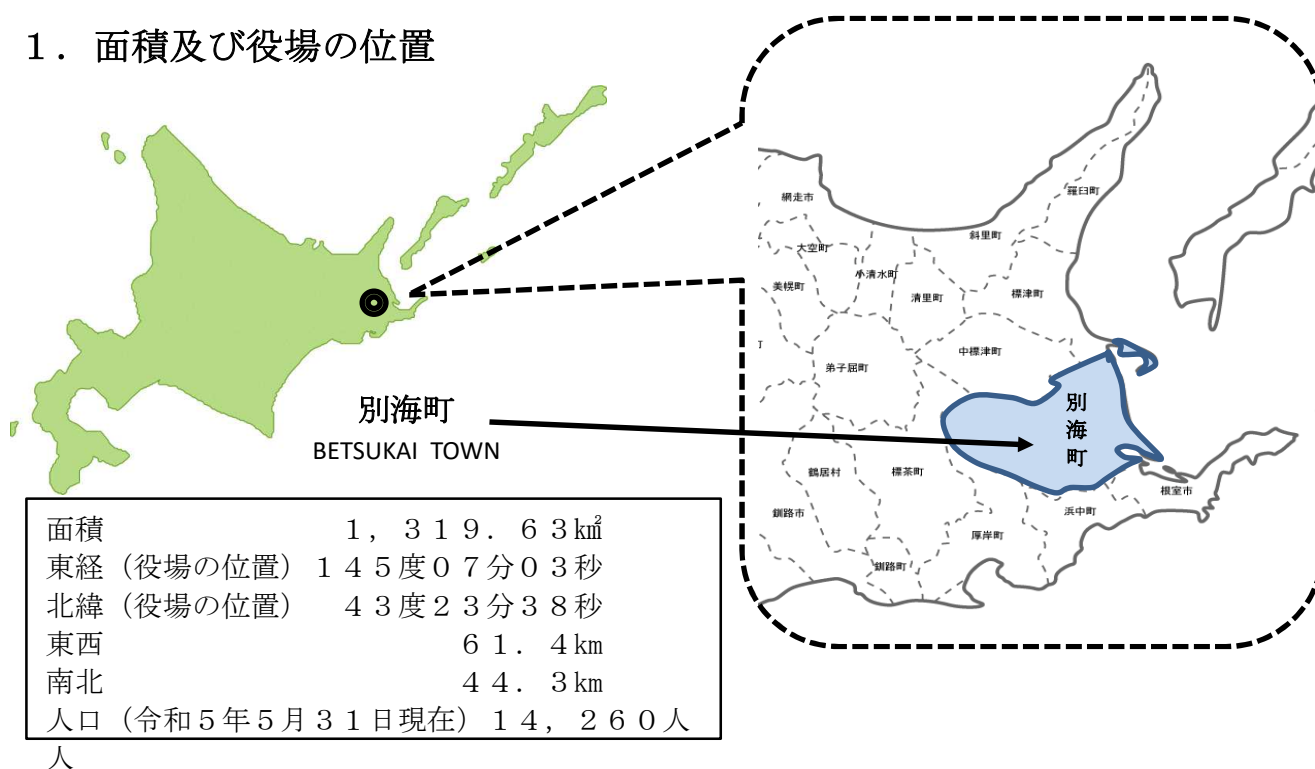
3 別海町下水道等事業経営戦略策定審議委員会について

目 的	公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続するため、中長期的な経営の基本計画となる経営戦略の策定にあたり、専門的な観点を含め幅広く意見を求めた検討を行うため設置する。
事 務 局	別海町建設水道部上下水道課
構 成	学識経験を有する者、下水道事業に識見を有する者、各種団体を代表する者及び町民から合わせて7人（敬称略）
ス ケ ジ ュ ー ル 等	令和5年度中 5回程度開催予定（資料 参照）

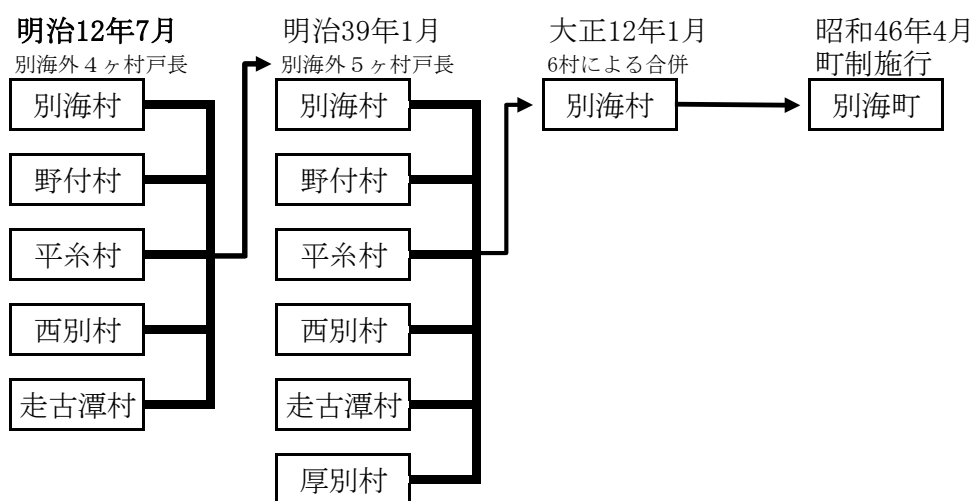
別海町の概要

資料 2

1. 面積及び役場の位置



2. 町の沿革



明治12年7月

別海に戸長役場設置（走古潭、西別、平糸、野付、別海の5村を統括し別海外4ヶ村戸長役場と称す。）

明治39年12月

和田村管轄の厚別村を編入して別海外5ヶ村戸長役場と改める。

大正12年1月

野付郡別海村、野付村、平糸村、根室郡西別村、走古潭村、厚別村の6村が合併し別海村となる。

昭和46年4月

町制施行され別海町となる。

別海町下水道等事業の概要

別海町建設水道部上下水道課

令和 5 年 6 月

1 下水道の仕組み

1.1 下水道の役割

下水道の役割は、主に、①生活環境の改善、②雨水の排除、③公共用水域の水質の保全の3つとなります。

① 生活環境の改善

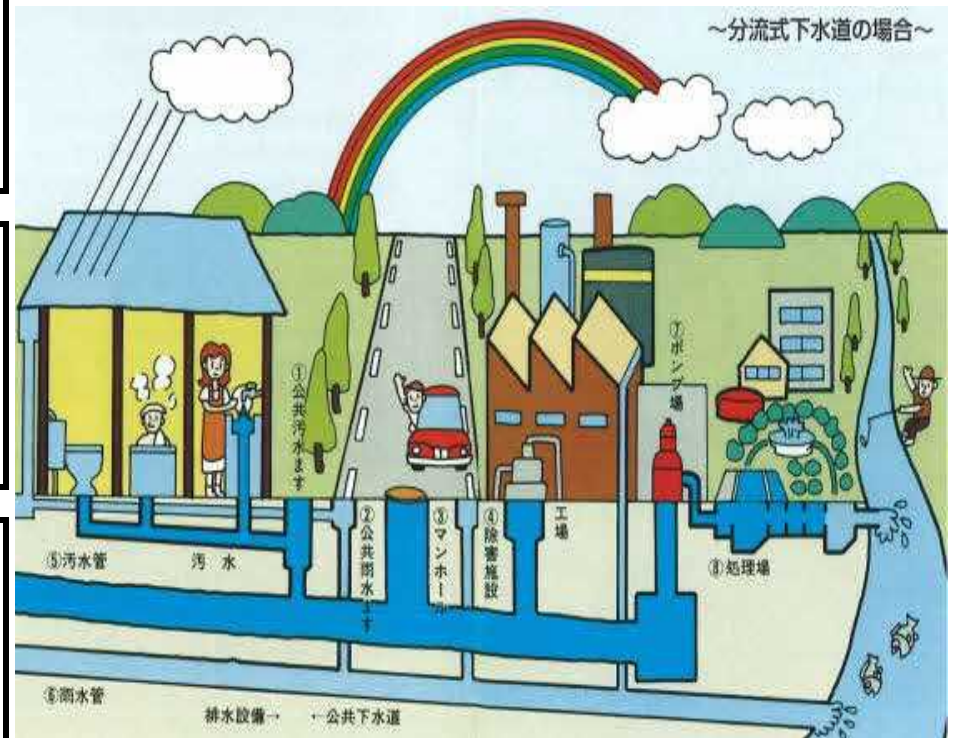
家庭などから出た汚水は、下水道管を経て速やかに下水処理場へと運ばれます。下水道の整備によって、街を清潔に保ち、害虫、感染症、悪臭等の発生を防止します。

② 雨水の排除

近年、各地で大雨の発生数が増加しています。市街地では、雨水の流出量が著しく増加します。雨水管等によるその速やかな排除により、浸水の防除に寄与します。

③ 公共用水域の水質の保全

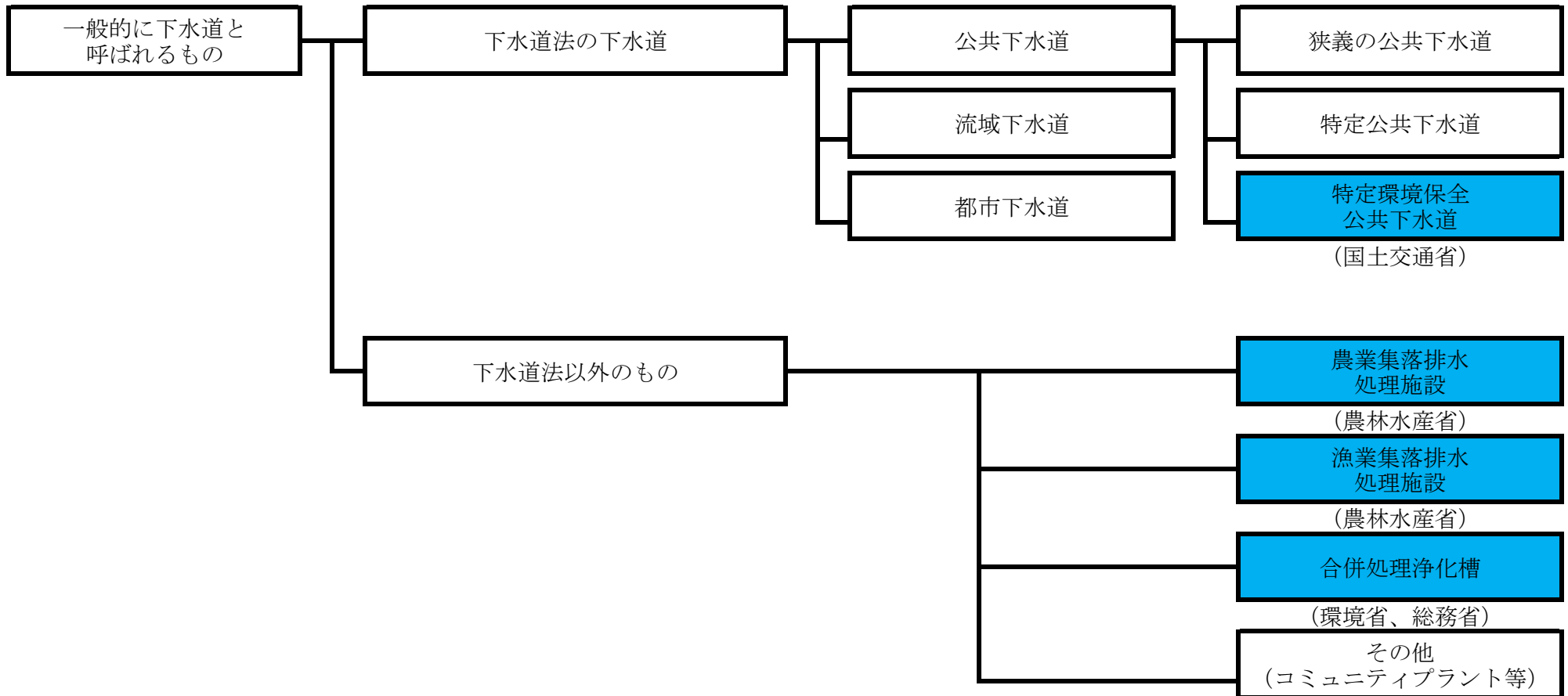
生活排水等は、下水道管を通して下水処理場へと運ばれます。下水処理場で汚水に様々な処理や消毒を施した後、河川等に放流することで、公共用水域の水質汚濁を防止し、豊かな自然環境に寄与します。



1 下水道の仕組み

1.2 下水道の種類 (1/2)

別海町では、特定環境保全公共下水道及び農業（漁業）集落排水処理施設が利用されています。



1 下水道の仕組み

1.3 下水道の種類 (2/2)

別海町では、特定環境保全公共下水道及び農業（漁業）集落排水処理施設が利用されています。

特定環境保全公共下水道

公共下水道のうち、主として市街化区域以外で設置される下水道であり、農山漁村の生活環境の改善を図るため、処理対象人口が10,000人以下の小規模下水道のことをいう。

農業集落排水施設

農業集落において、農業用用水の水質保全、施設の機能維持又は農村の生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与するため、農業集落におけるし尿、生活雑排水などの汚水や汚泥を処理する施設をいう。

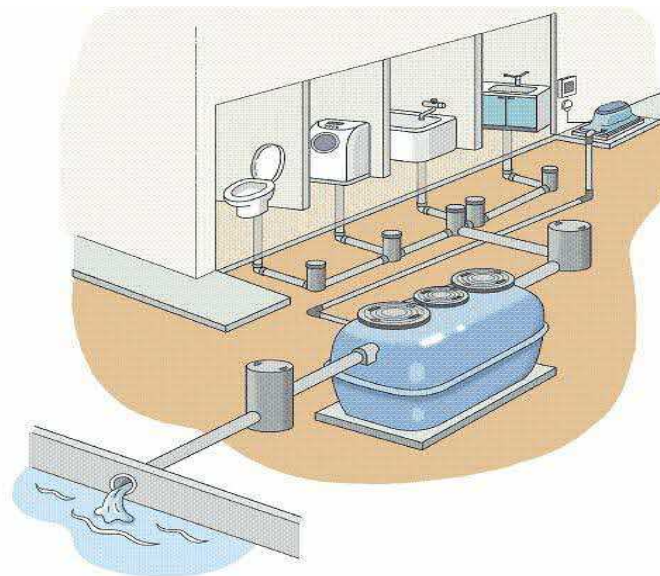
漁業集落排水施設

漁業集落において、漁港及び漁場の水域環境と漁村の生活環境等の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与するため、漁業集落におけるし尿、生活雑排水などの汚水や汚泥を処理する施設をいう。

合併処理浄化槽

トイレの汚水だけではなく、台所、お風呂の生活雑排水も一緒に処理する浄化槽をいう。現在はトイレの汚水のみを処理する単独浄化槽の新設は禁止され、合併浄化槽のみが認められている。

合併処理浄化槽 イメージ図



1 下水道の仕組み

1.4 雨水事業

浸水防除の一つとして雨水の排除を下水道事業が担います。
昨今の大雨により、浸水被害がたびたび発生しているため、雨水管を整備することにより浸水対策を進めています。

雨水対策のイメージ図



※別海町では、家庭の雨水管および雨水貯留浸透施設からの雨水管接続はありません。

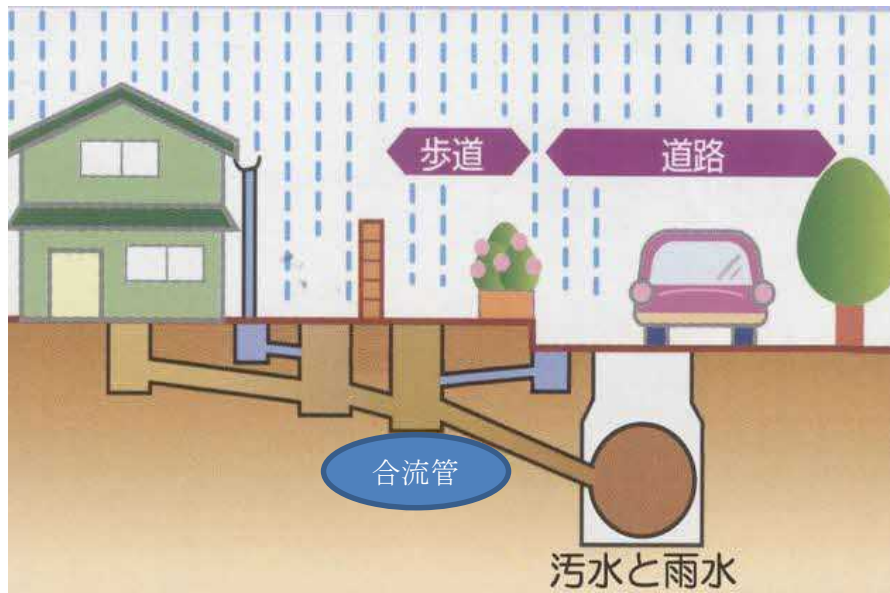
1 下水道の仕組み

1.5 下水の排除方式（污水事業）

下水道の排除方式（污水事業）は「合流式」と「分流式」があり、本町においては「分流式」を採用しています。

合流式下水道と分流式下水道のイメージ図

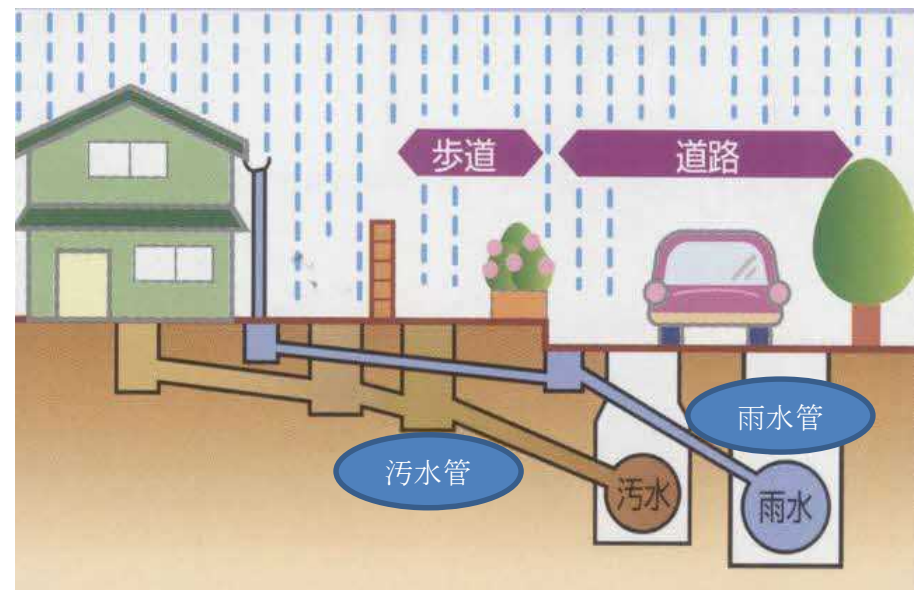
合流式下水道



仕組み

○ 汚水と雨水が同じ管で排除する

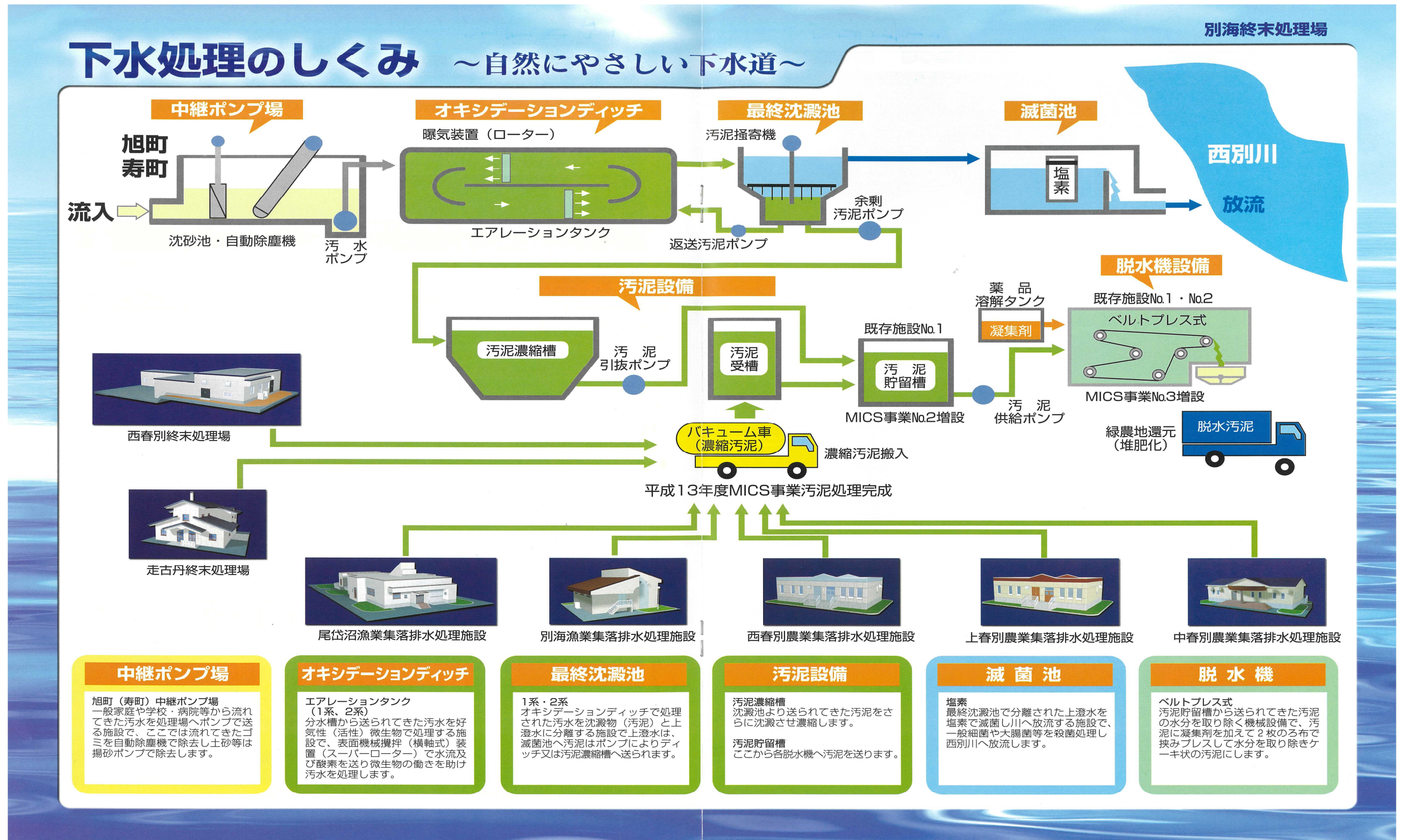
分流式下水道



○ 汚水と雨水が別の管で排除する

1 下水道の仕組み

1.6 下水処理の仕組み（別海町全体の流れ）

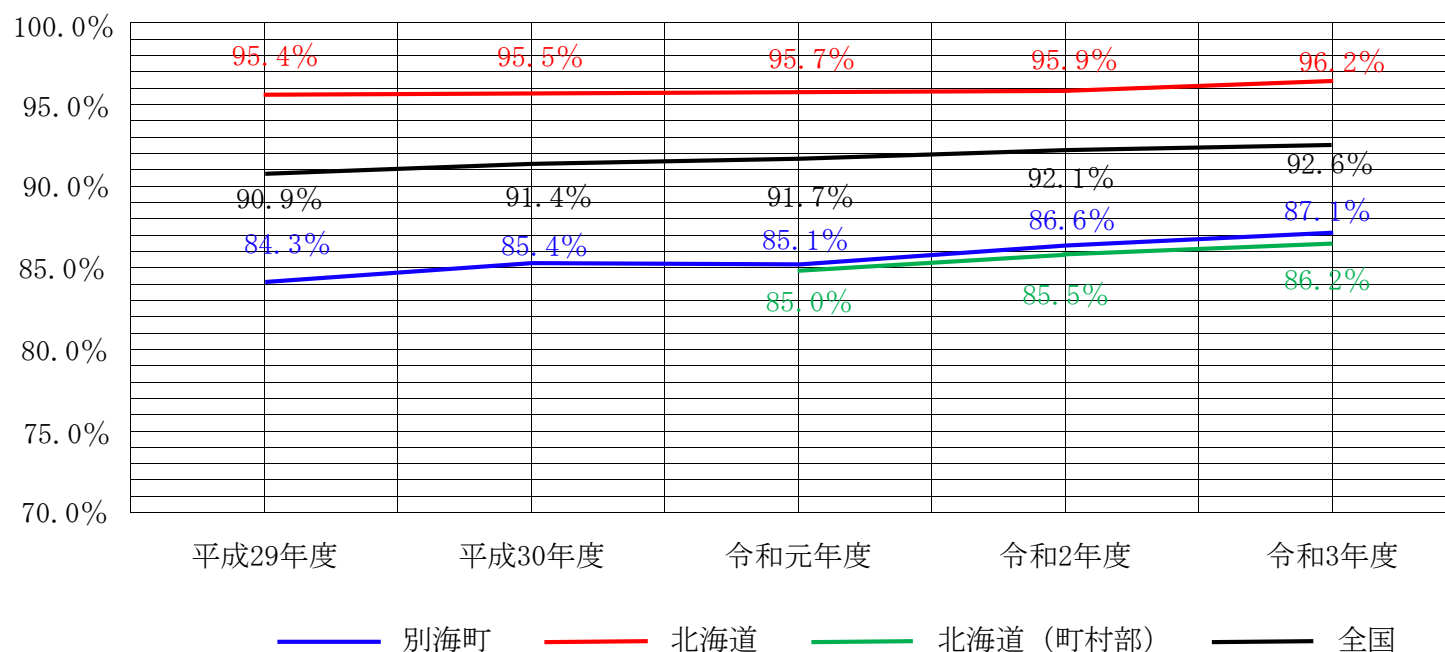


2 下水道事業の概要

2.1 汚水処理人口普及率

(特定環境保全公共下水道＋集落排水＋合併処理浄化槽)

令和3年度末時点での汚水処理人口普及率は87.1%であり、全国や北海道全体と比較しても低い水準にあります。



※汚水処理人口普及率は、下水道処理人口の他に農業・漁業集落排水による処理人口や合併処理浄化槽による処理人口を足した値を、行政人口で除した値です。

汚水処理人口普及率 (%) = (下水道処理人口+農業 (漁業) 集落排水人口+合併処理浄化槽人口) / 行政人口

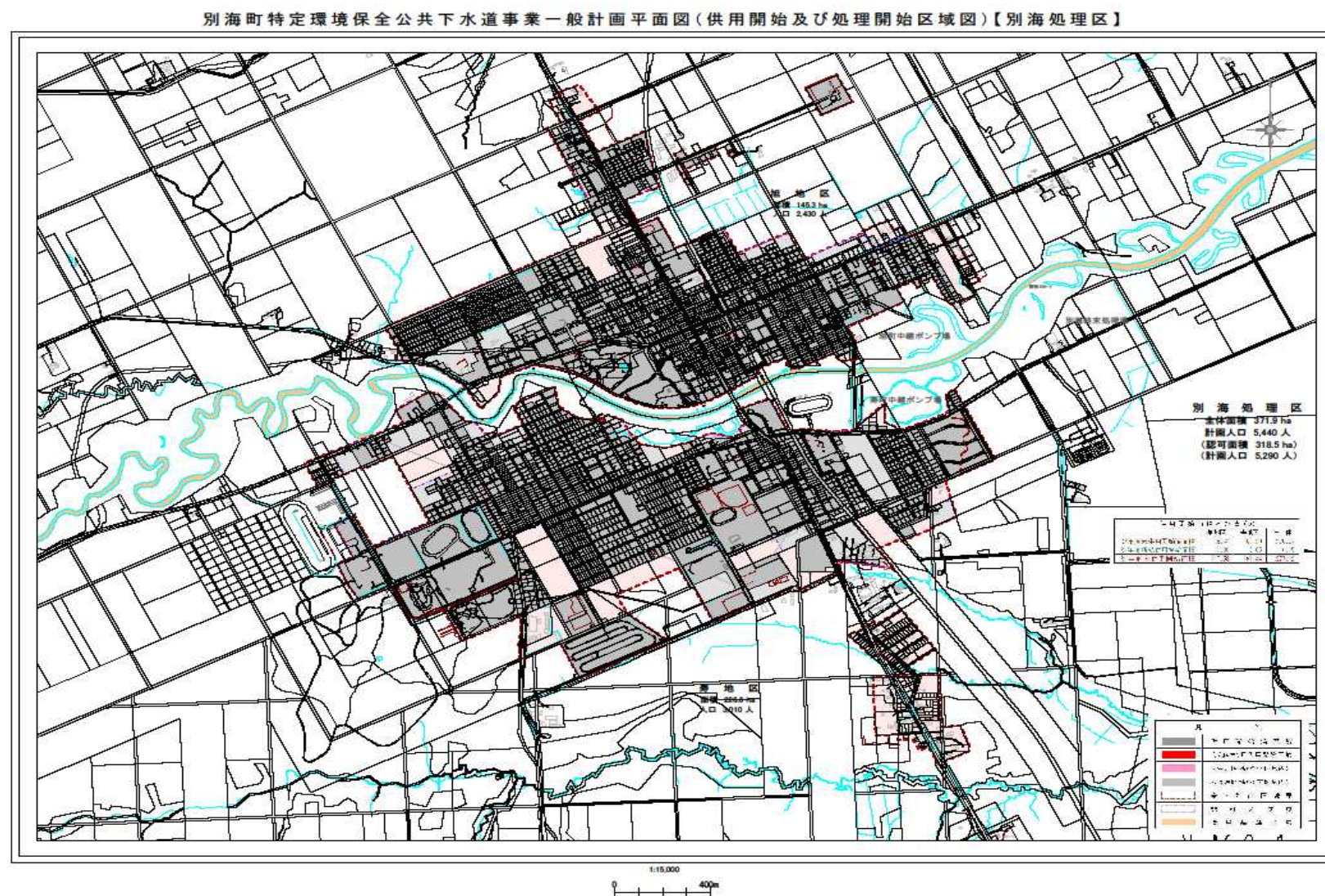
2 下水道事業の概要

【参考】別海町污水处理施設位置図



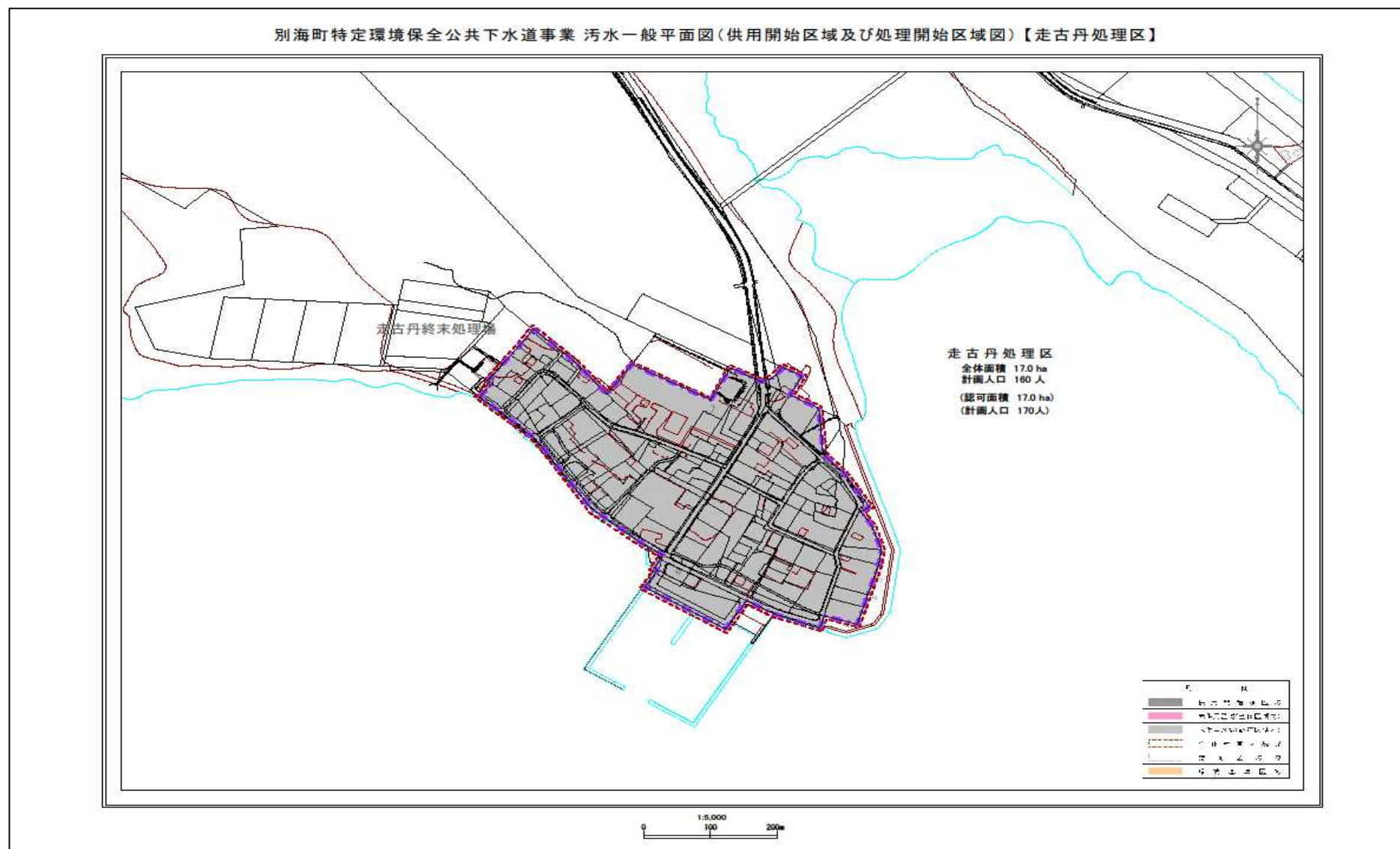
2 下水道事業の概要

【参考】別海町下水道区域図（別海処理区）



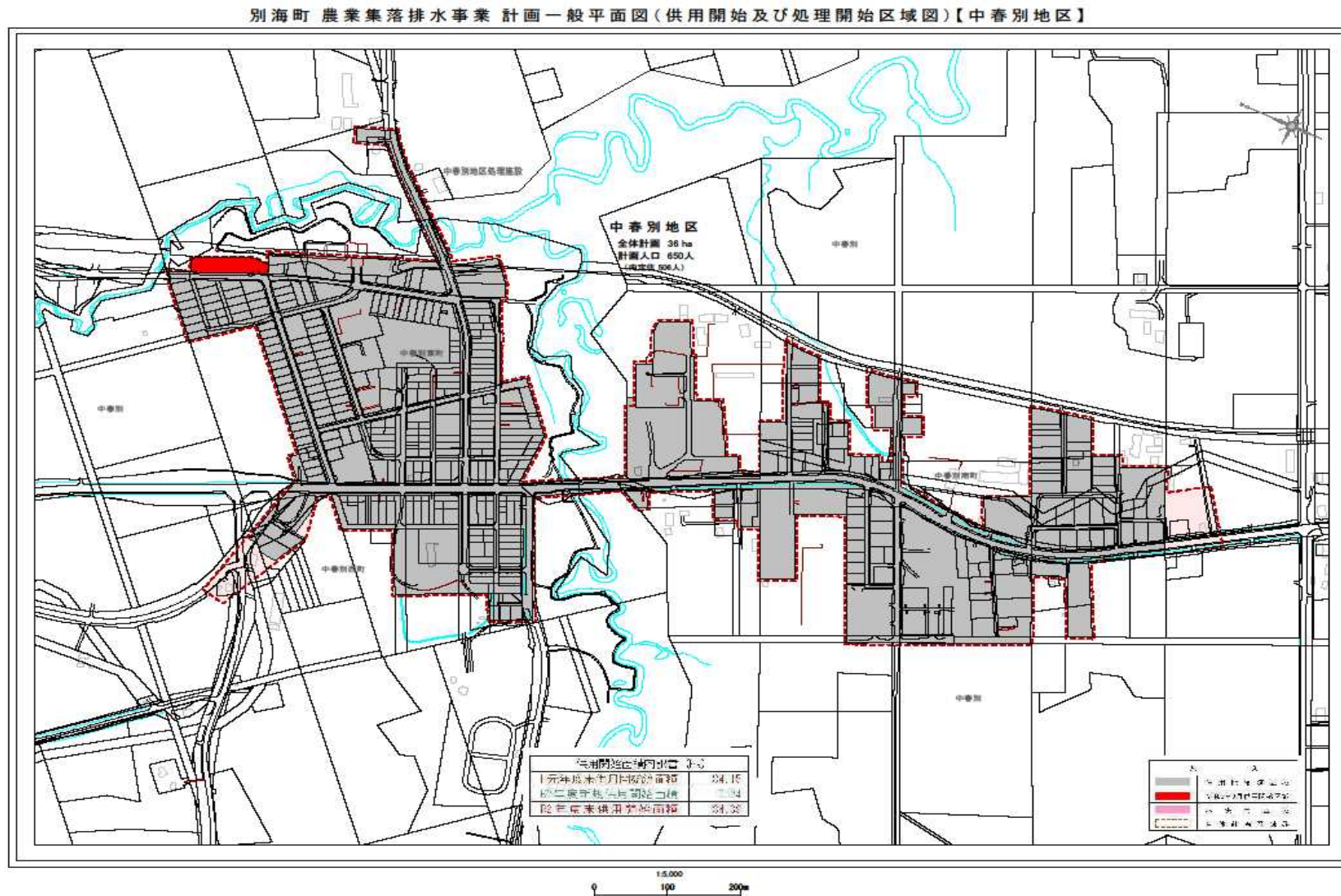
2 下水道事業の概要

【参考】別海町下水道区域図（走古丹処理区）



2 下水道事業の概要

【参考】別海町農業集落排水区域図（中春別地区）

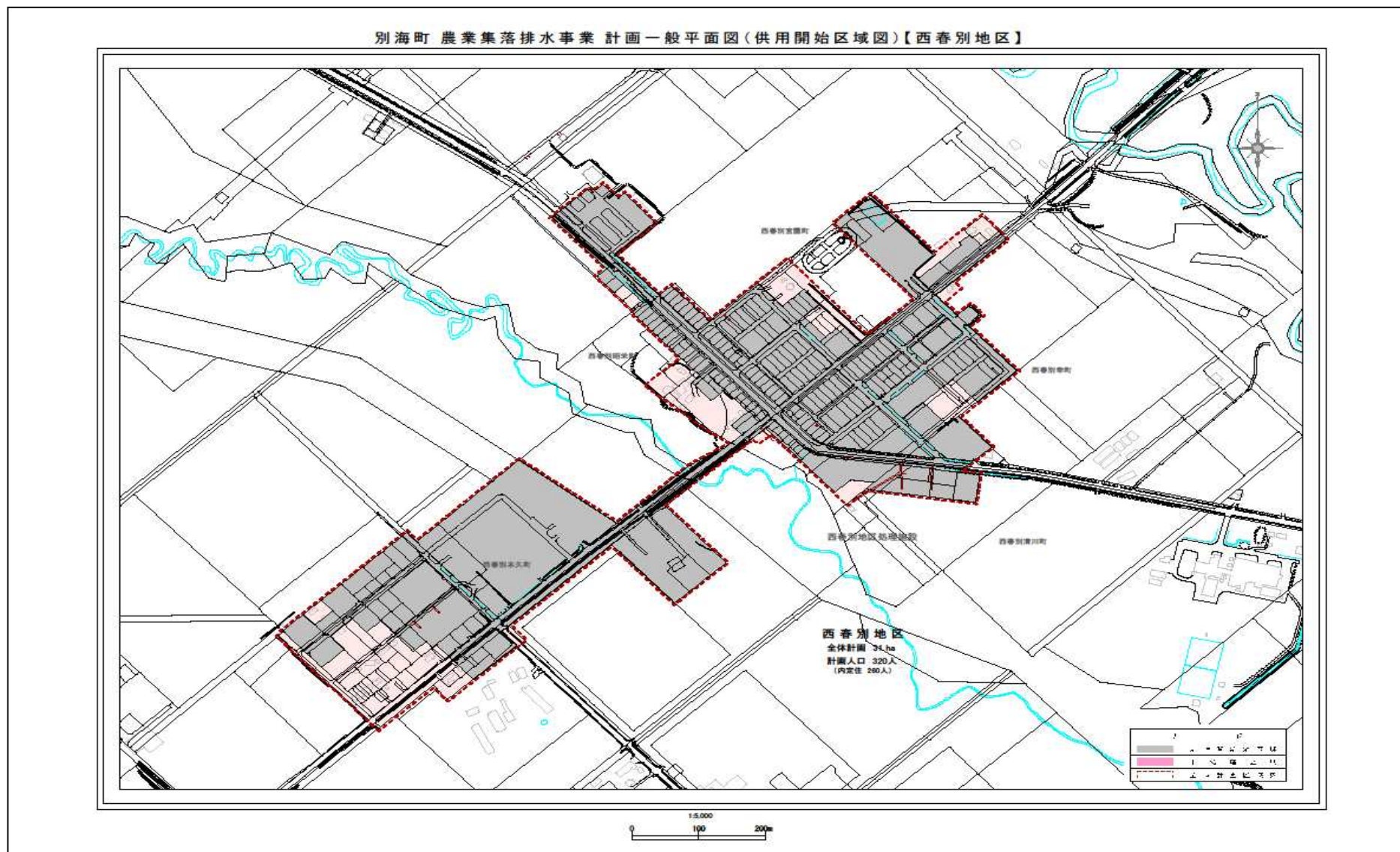


【参考】別海町農業集落排水区域図（上春別地区）



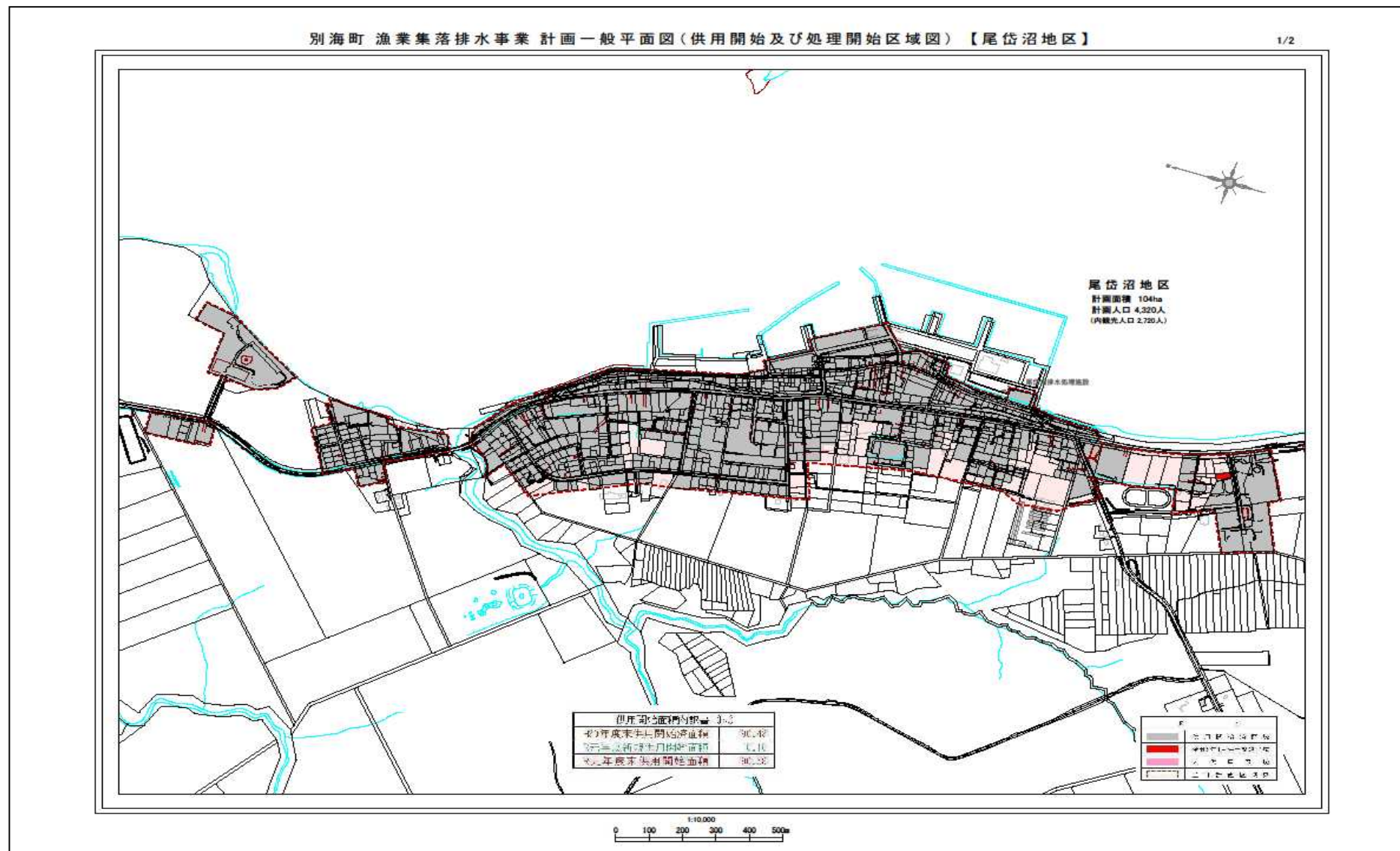
2 下水道事業の概要

【参考】別海町農業集落排水区域図（西春別地区）



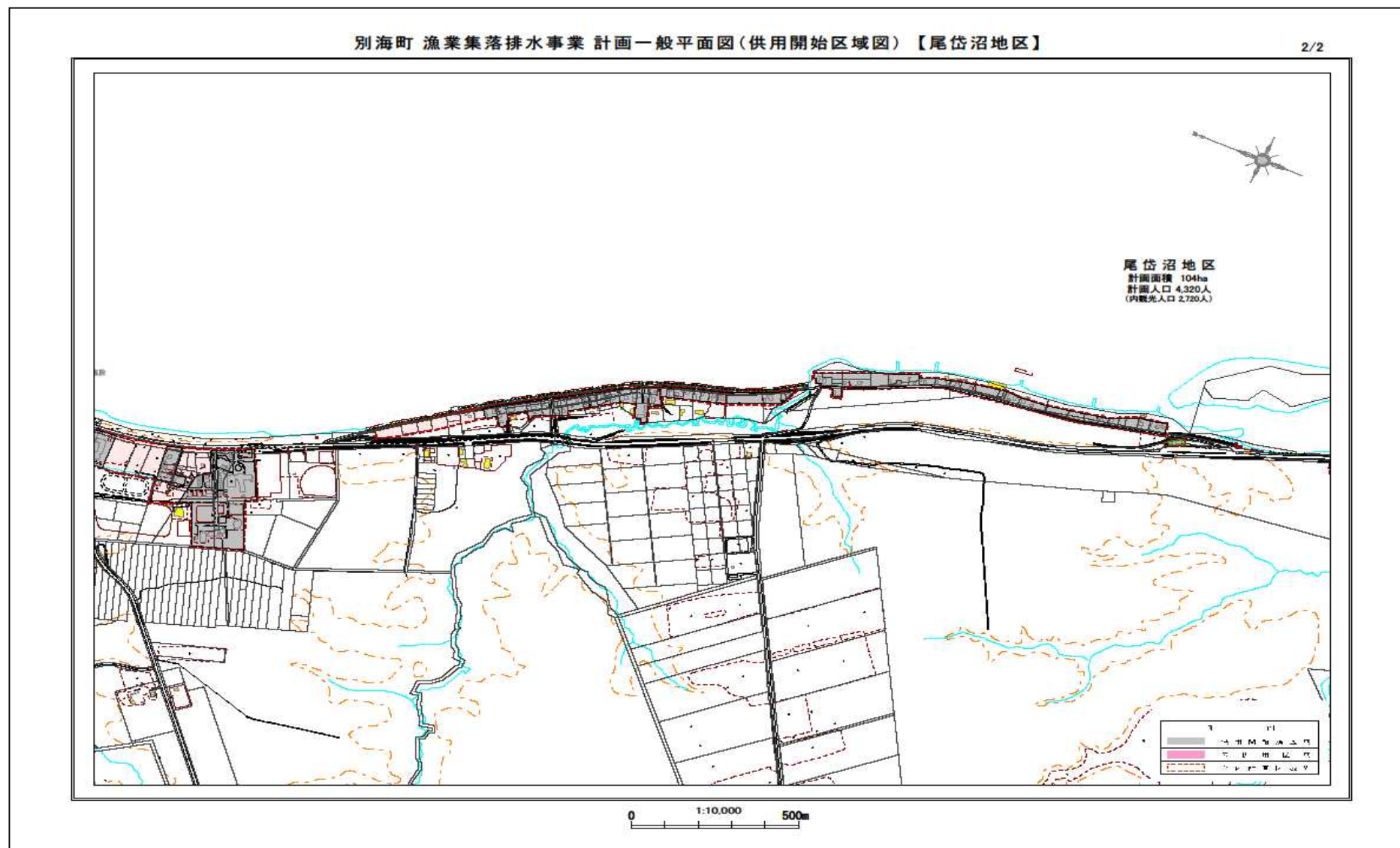
2 下水道事業の概要

【参考】別海町漁業集落排水区域図（尾岱沼地区） 1/2



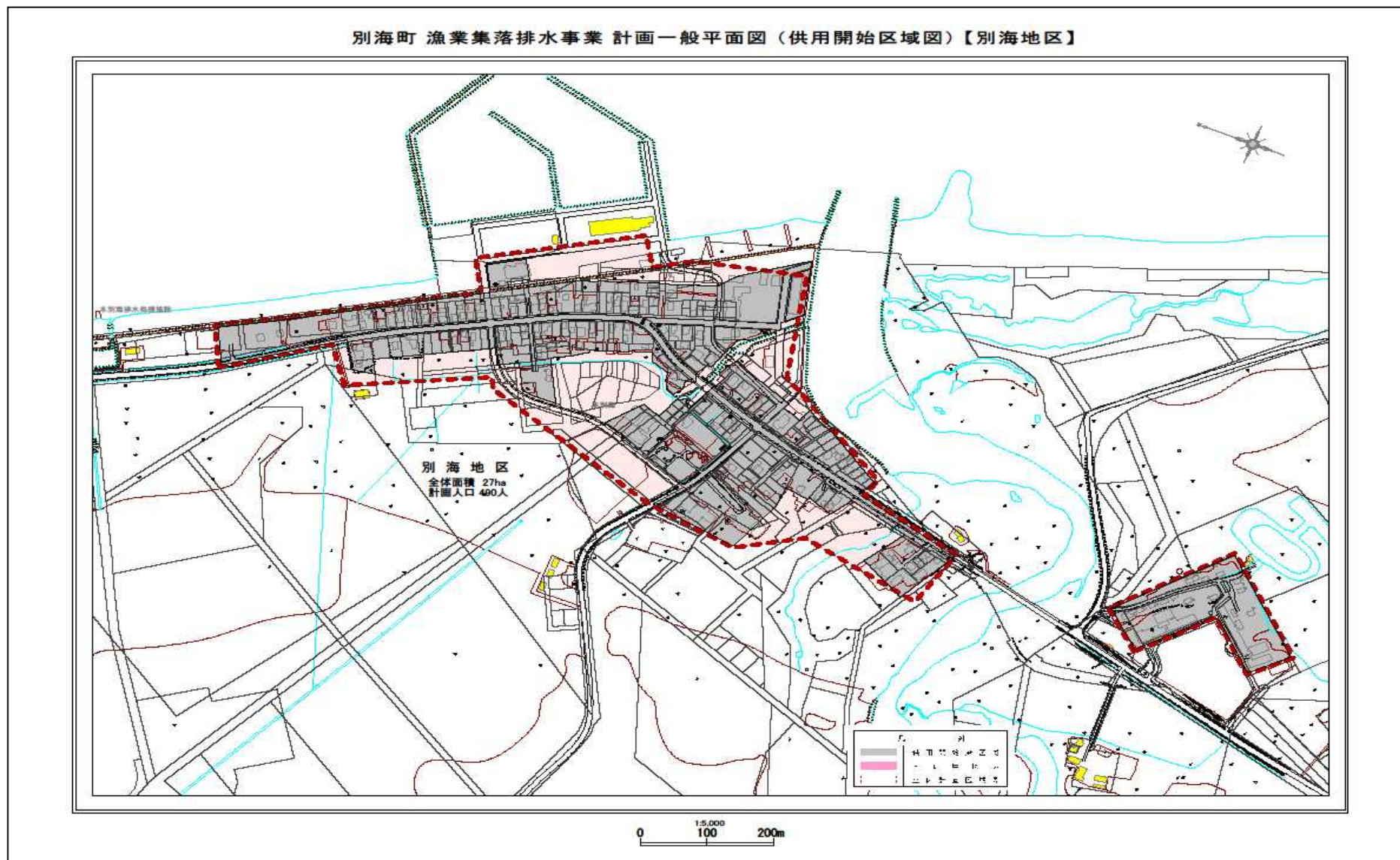
2 下水道事業の概要

【参考】 別海町漁業集落排水区域図（尾岱沼地区） 2/2



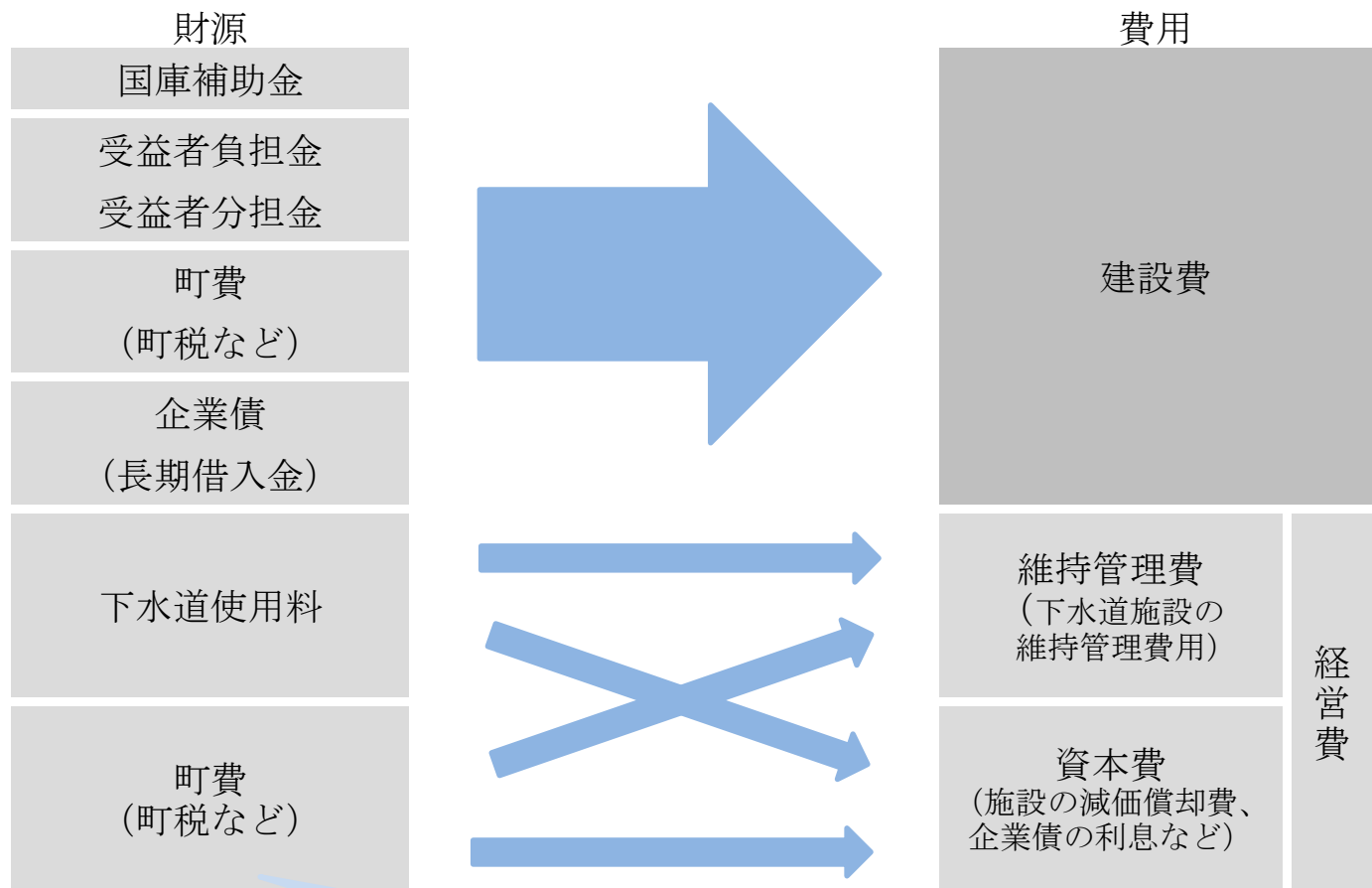
2 下水道事業の概要

【参考】別海町漁業集落排水区域図（別海地区）



3 公営企業の経営前提

水道事業と同様に独立採算が前提となりますが、下水道事業の場合、公共性のある経費や能率的な経営を行っても独立採算が困難と認められる経費は、税金である一般会計による負担を求めることも定められています。



一般会計で負担する経費は、国が示す基準で負担が認められる基準内繰入金と基準で示されていない基準外繰入金の2つがあります。

